



平成26年12月15日

各 位

会社名	虹 技 株 式 会 社
代表者名	代表取締役社長 堀田 一之
(コード	5603 東証第1部)
問合せ先責任者	取締役経理部長 谷岡 宗
(TEL	079-236-3221)

(訂正)「平成26年3月期 第3四半期決算短信」の一部訂正について

当社は、平成26年12月12日付「第三者委員会の調査報告書受領に関するお知らせ」にてお知らせしましたとおり、過年度決算短信の訂正作業を進めてまいりました。

このたび、平成26年2月3日付「平成26年3月期 第3四半期決算短信」の訂正作業が完了しましたので、訂正内容についてお知らせいたします。

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正前および訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には_を付して表示しております。

以上

【訂正後】



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 虹技株式会社

コード番号 5603 URL <http://www.kogi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀田 一之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 谷岡 宗 TEL 079-236-3221

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	13,371	5.4	465	164.6	466	141.4	209	226.7
25年3月期第3四半期	12,685	△0.3	175	△73.4	193	△68.3	64	△82.4

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 757百万円 (604.0%) 25年3月期第3四半期 107百万円 (△70.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	<u>6.36</u>	—
25年3月期第3四半期	<u>1.95</u>	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	<u>21,806</u>	<u>9,719</u>	<u>39.0</u>
25年3月期	<u>20,213</u>	<u>9,155</u>	<u>40.6</u>

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 8,502百万円 25年3月期 8,200百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,850	3.5	880	64.3	760	31.0	440	54.9	13.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	33,621,637株	25年3月期	33,621,637株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	595,354株	25年3月期	592,828株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	33,027,125株	25年3月期3Q	33,029,461株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は完了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による金融・経済政策、さらに米国を中心とする世界経済の回復などにより、閉塞感に包まれてきた経済状況に薄日が差し、好業績を示している業界がある一方、未だ恩恵を受けきれていない業界もあり、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもとで当社グループは、新たに第4次3カ年計画(2013～2015年度)をスタートさせ、『品質ナンバーワン』を核として、『技術開発への取り組みの強化』、『人材の育成』、『財務体質の更なる強化』の4つの基本方針に基づく重要課題の達成に向けた取組みを推し進め、国内事業の基盤を固め、世界的な競争に対応できる企業体質の構築に努めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高 133億7千1百万円(前年同期比 5.4%増)、営業利益 4億6千5百万円(前年同期比 164.6%増)、経常利益 4億6千6百万円(前年同期比 141.4%増)、四半期純利益 2億9百万円(前年同期比 226.7%増)となりました。

なお、上記の経常利益には、退職給付会計の数理計算上の差異の償却に係る信託株式の時価変動による損益(△は損失)を、△1億8千3百万円(前年同期 △4億1千6百万円)、同じく四半期純利益には、△1億1千3百万円(前年同期 △2億5千8百万円)を含んでおります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 鋳物関連事業

鋳型は、大型鍛造鋼塊用鋳型の需要低迷が続き、売上高は前年同期を下回りました。ロールは、国内高炉・電炉各社の生産は回復し、円安による輸出環境の改善により国内外主要顧客の需要低迷は徐々に持ち直しつつあるものの、前年同期にあった海外向け大型物件の売上減があったため、売上高は前年同期を下回りました。自動車用プレス金型鋳物は、国内金型需要は依然低位に推移しており、売上高は前年同期並みとなりました。大型産業機械用鋳物は、平成24年秋口以降急速に落ち込んだ工作機械業界が、円安への転換を機に徐々に回復し、売上高は前年同期を上回りました。小型鋳物は、機械鋳物類が引き続き堅調に推移し、主力である新型人孔鉄蓋や次世代型高品位鉄蓋などの下水道鉄蓋の拡販や電線共同溝用鉄蓋の需要増により、売上高は前年同期を上回りました。デンスパーは、油圧機器および小型建設機械などの国内産業機械向け需要が堅調に推移し、台湾向けを中心とした輸出の回復もあり、売上高は前年同期を上回りました。

中国国内で自動車用プレス金型鋳物の生産・販売を手がける天津虹岡鋳鋼有限公司は、現地自動車メーカーのモデルチェンジなどによる需要により堅調に推移し、為替の影響もあり、売上高は前年同期を上回りました。

この結果、当事業の売上高は、110億5千2百万円(前年同期比 3.5%増)と前年同期並みで推移しましたが、損益面では、電力料金等のコストアップがひびき、経常利益 5億2千万円(前年同期比 12.4%減)となりました。

② その他の事業

送風機は、国内設備投資の縮小傾向が続く厳しい受注環境のもと、大型品市場への参入、新規耐熱送風機顧客の開拓、高効率ファンの拡大等に努め、売上高は前年同期を上回りました。環境・省エネ商品のトランスベクターは、市場が不透明で前年同期のような活発な動きが無く、売上高は前年同期を下回りました。KCメタルファイバーは、国内向けおよび北米向けの摩擦材需要に支えられ、売上高は前年同期を上回りました。KCカーボンセラミックスは、主要顧客先であるアルミ、銅、ガラス業界向け需要が持ち直し、売上高は前年同期を上回りました。環境装置事業は、都市ゴミ焼却炉延命化工事の大口物件の売上により、売上高は前年同期を上回りました。また、平成25年4月から稼働を始めたソーラー事業も順調に推移いたしました。

この結果、当事業の売上高は、23億1千9百万円(前年同期比 15.7%増)、経常利益 2億2千8百万円(前年同期比 16.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、127億7千万円となり、前連結会計年度末に比べ5億7千6百万円増加いたしました。これは、主として現金及び預金が2億9千4百万円、仕掛品が3億2千万円増加したことなどによります。

固定資産は、90億3千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億1千6百万円増加いたしました。これは、主として有形固定資産が5億3千1百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、218億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億9千2百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、83億9千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億9千2百万円増加いたしました。これは、主として支払手形及び買掛金が5億6百万円増加したことなどによります。

固定負債は、36億9千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億3千5百万円増加いたしました。これは、主として長期借入金が7億6千2百万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、120億8千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億2千8百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、97億1千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億6千4百万円増加いたしました。これは主として為替レートの変動により為替換算調整勘定が1億6千2百万円増加したことなどによります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の40.6%から39.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年5月8日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,003	3,298
受取手形及び売掛金	5,942	5,976
有価証券	187	—
商品及び製品	1,020	1,016
仕掛品	826	1,147
原材料及び貯蔵品	836	877
繰延税金資産	232	206
その他	166	284
貸倒引当金	△21	△36
流動資産合計	12,193	12,770
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,373	1,601
機械装置及び運搬具（純額）	2,116	2,539
土地	795	795
その他（純額）	997	877
有形固定資産合計	5,283	5,814
無形固定資産	14	17
投資その他の資産		
投資有価証券	1,263	2,228
前払年金費用	1,327	404
その他	131	571
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,722	3,203
固定資産合計	8,020	9,036
資産合計	20,213	21,806

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,053	3,560
短期借入金	2,537	2,719
未払法人税等	212	161
賞与引当金	110	82
その他	1,986	1,870
流動負債合計	<u>7,900</u>	<u>8,393</u>
固定負債		
社債	90	60
長期借入金	2,616	3,379
繰延税金負債	299	101
未払役員退職慰労金	63	50
退職給付引当金	79	90
環境対策引当金	6	3
その他	2	9
固定負債合計	<u>3,158</u>	<u>3,693</u>
負債合計	<u>11,058</u>	<u>12,086</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,002	2,002
資本剰余金	587	587
利益剰余金	<u>5,330</u>	<u>5,375</u>
自己株式	△67	△68
株主資本合計	<u>7,853</u>	<u>7,897</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	318	421
繰延ヘッジ損益	△9	△18
為替換算調整勘定	38	201
その他の包括利益累計額合計	<u>347</u>	<u>604</u>
新株予約権	5	5
少数株主持分	948	1,211
純資産合計	<u>9,155</u>	<u>9,719</u>
負債純資産合計	<u>20,213</u>	<u>21,806</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	12,685	13,371
売上原価	<u>11,020</u>	<u>11,381</u>
売上総利益	<u>1,665</u>	<u>1,989</u>
販売費及び一般管理費	1,489	1,524
営業利益	<u>175</u>	<u>465</u>
営業外収益		
受取利息及び配当金	19	20
保険配当金	26	25
為替差益	1	39
受取保険金	32	—
貸倒引当金戻入額	45	—
その他	30	17
営業外収益合計	<u>156</u>	<u>102</u>
営業外費用		
支払利息	76	62
支払補償費	33	—
その他	29	38
営業外費用合計	<u>139</u>	<u>101</u>
経常利益	<u>193</u>	<u>466</u>
特別利益		
退職給付信託一部返還に伴う影響額	—	9
投資有価証券償還益	—	9
特別利益合計	<u>—</u>	<u>19</u>
特別損失		
減損損失	21	—
特別損失合計	<u>21</u>	<u>—</u>
税金等調整前四半期純利益	<u>172</u>	<u>485</u>
法人税、住民税及び事業税	190	352
法人税等調整額	<u>△181</u>	<u>△211</u>
法人税等合計	<u>9</u>	<u>140</u>
少数株主損益調整前四半期純利益	<u>162</u>	<u>345</u>
少数株主利益	98	135
四半期純利益	<u>64</u>	<u>209</u>

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	<u>162</u>	<u>345</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39	103
繰延ヘッジ損益	△0	△9
為替換算調整勘定	△15	318
その他の包括利益合計	<u>△54</u>	<u>412</u>
四半期包括利益	<u>107</u>	<u>757</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>16</u>	<u>466</u>
少数株主に係る四半期包括利益	90	291

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	鋳物関連事業	その他	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	10,681	2,004	12,685	—	12,685
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	6	6	△6	—
計	10,681	2,010	12,691	△6	12,685
セグメント利益	593	196	790	△597	193

(注) 1. セグメント利益の調整額△597百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△228百万円、営業外収益が78百万円、営業外費用が△29百万円及び退職給付会計の数理計算上の差異の償却に係る信託株式の時価変動による損益(△は損失)が△416百万円含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「鋳物関連事業」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において21百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	鋳物関連事業	その他	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	11,052	2,319	13,371	—	13,371
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	5	5	△5	—
計	11,052	2,325	13,377	△5	13,371
セグメント利益	520	228	748	△282	466

(注) 1. セグメント利益の調整額△282百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△162百万円、営業外収益が102百万円、営業外費用が△38百万円及び退職給付会計の数理計算上の差異の償却に係る信託株式の時価変動による損益(△は損失)が△183百万円含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

【訂正前】



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 虹技株式会社

コード番号 5603 URL <http://www.kogi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀田 一之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 谷岡 宗 TEL 079-236-3221

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	13,371	5.4	445	36.2	446	29.6	197	25.3
25年3月期第3四半期	12,685	△0.3	326	△57.1	344	△51.6	157	△63.0

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 745百万円 (270.6%) 25年3月期第3四半期 201百万円 (△52.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	5.99	—
25年3月期第3四半期	4.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	22,019	9,932	39.6
25年3月期	20,439	9,380	41.2

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 8,714百万円 25年3月期 8,426百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,850	3.5	880	64.3	760	31.0	440	54.9	13.32

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	33,621,637株	25年3月期	33,621,637株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	595,354株	25年3月期	592,828株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	33,027,125株	25年3月期3Q	33,029,461株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は完了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による金融・経済政策、さらに米国を中心とする世界経済の回復などにより、閉塞感に包まれてきた経済状況に薄日が差し、好業績を示している業界がある一方、未だ恩恵を受けきれていない業界もあり、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもとで当社グループは、新たに第4次3カ年計画(2013～2015年度)をスタートさせ、『品質ナンバーワン』を核として、『技術開発への取り組みの強化』、『人材の育成』、『財務体質の更なる強化』の4つの基本方針に基づく重要課題の達成に向けた取組みを推し進め、国内事業の基盤を固め、世界的な競争に対応できる企業体質の構築に努めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高 133億7千1百万円(前年同期比 5.4%増)、営業利益 4億4千5百万円(前年同期比 36.2%増)、経常利益 4億4千6百万円(前年同期比 29.6%増)、四半期純利益 1億9千7百万円(前年同期比 25.3%増)となりました。

なお、上記の経常利益には、退職給付会計の数理計算上の差異の償却に係る信託株式の時価変動による損益(△は損失)を、△1億9千9百万円(前年同期 △4億8百万円)、同じく四半期純利益には、△1億1千7百万円(前年同期 △2億5千3百万円)を含んでおります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 鋳物関連事業

鋳型は、大型鍛造鋼塊用鋳型の需要低迷が続き、売上高は前年同期を下回りました。ロールは、国内高炉・電炉各社の生産は回復し、円安による輸出環境の改善により国内外主要顧客の需要低迷は徐々に持ち直しつつあるものの、前年同期にあった海外向け大型物件の売上減があったため、売上高は前年同期を下回りました。自動車用プレス金型鋳物は、国内金型需要は依然低位に推移しており、売上高は前年同期並みとなりました。大型産業機械用鋳物は、平成24年秋口以降急速に落ち込んだ工作機械業界が、円安への転換を機に徐々に回復し、売上高は前年同期を上回りました。小型鋳物は、機械鋳物類が引き続き堅調に推移し、主力である新型人孔鉄蓋や次世代型高品位鉄蓋などの下水道鉄蓋の拡販や電線共同溝用鉄蓋の需要増により、売上高は前年同期を上回りました。デンスパーは、油圧機器および小型建設機械などの国内産業機械向け需要が堅調に推移し、台湾向けを中心とした輸出の回復もあり、売上高は前年同期を上回りました。

中国国内で自動車用プレス金型鋳物の生産・販売を手がける天津虹岡鋳鋼有限公司は、現地自動車メーカーのモデルチェンジなどによる需要により堅調に推移し、為替の影響もあり、売上高は前年同期を上回りました。

この結果、当事業の売上高は、110億5千2百万円(前年同期比 3.5%増)と前年同期並みで推移しましたが、損益面では、電力料金等のコストアップがひびき、経常利益 5億7百万円(前年同期比 31.1%減)となりました。

② その他の事業

送風機は、国内設備投資の縮小傾向が続く厳しい受注環境のもと、大型品市場への参入、新規耐熱送風機顧客の開拓、高効率ファンの拡大等に努め、売上高は前年同期を上回りました。環境・省エネ商品のトランスベクターは、市場が不透明で前年同期のような活発な動きが無く、売上高は前年同期を下回りました。KCメタルファイバーは、国内向けおよび北米向けの摩擦材需要に支えられ、売上高は前年同期を上回りました。KCカーボンセラミックスは、主要顧客先であるアルミ、銅、ガラス業界向け需要が持ち直し、売上高は前年同期を上回りました。環境装置事業は、都市ゴミ焼却炉延命化工事の大口物件の売上により、売上高は前年同期を上回りました。また、平成25年4月から稼働を始めたソーラー事業も順調に推移いたしました。

この結果、当事業の売上高は、23億1千9百万円(前年同期比 15.7%増)、経常利益 2億2千8百万円(前年同期比 16.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、129億8千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億6千4百万円増加いたしました。これは、主として現金及び預金が2億9千4百万円、商品及び製品が1億4千9百万円および仕掛品が1億3千万円増加したことなどによります。

固定資産は、90億3千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億1千6百万円増加いたしました。これは、主として有形固定資産が5億3千1百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、220億1千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億8千万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、83億9千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億9千2百万円増加いたしました。これは、主として支払手形及び買掛金が5億6百万円増加したことなどによります。

固定負債は、36億9千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億3千5百万円増加いたしました。これは、主として長期借入金が7億6千2百万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、120億8千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億2千8百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、99億3千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億5千2百万円増加いたしました。これは主として為替レートの変動により為替換算調整勘定が1億6千2百万円増加したことなどによります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の41.2%から39.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年5月8日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,003	3,298
受取手形及び売掛金	5,942	5,976
有価証券	187	—
商品及び製品	<u>1,340</u>	<u>1,490</u>
仕掛品	<u>868</u>	<u>999</u>
原材料及び貯蔵品	<u>848</u>	<u>904</u>
繰延税金資産	<u>83</u>	<u>65</u>
その他	166	284
貸倒引当金	△21	△36
流動資産合計	<u>12,419</u>	<u>12,983</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,373	1,601
機械装置及び運搬具（純額）	2,116	2,539
土地	795	795
その他（純額）	997	877
有形固定資産合計	<u>5,283</u>	<u>5,814</u>
無形固定資産	14	17
投資その他の資産		
投資有価証券	1,263	2,228
前払年金費用	1,327	404
その他	131	571
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	<u>2,722</u>	<u>3,203</u>
固定資産合計	<u>8,020</u>	<u>9,036</u>
資産合計	<u>20,439</u>	<u>22,019</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,053	3,560
短期借入金	2,537	2,719
未払法人税等	212	161
賞与引当金	110	82
その他	1,986	1,870
流動負債合計	<u>7,900</u>	<u>8,393</u>
固定負債		
社債	90	60
長期借入金	2,616	3,379
繰延税金負債	299	101
未払役員退職慰労金	63	50
退職給付引当金	79	90
環境対策引当金	6	3
その他	2	9
固定負債合計	<u>3,158</u>	<u>3,693</u>
負債合計	<u>11,058</u>	<u>12,086</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,002	2,002
資本剰余金	587	587
利益剰余金	<u>5,556</u>	<u>5,588</u>
自己株式	△67	△68
株主資本合計	<u>8,078</u>	<u>8,110</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	318	421
繰延ヘッジ損益	△9	△18
為替換算調整勘定	38	201
その他の包括利益累計額合計	<u>347</u>	<u>604</u>
新株予約権	5	5
少数株主持分	948	1,211
純資産合計	<u>9,380</u>	<u>9,932</u>
負債純資産合計	<u>20,439</u>	<u>22,019</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	12,685	13,371
売上原価	<u>10,869</u>	<u>11,401</u>
売上総利益	<u>1,816</u>	<u>1,969</u>
販売費及び一般管理費	1,489	1,524
営業利益	<u>326</u>	<u>445</u>
営業外収益		
受取利息及び配当金	19	20
保険配当金	26	25
為替差益	1	39
受取保険金	32	—
貸倒引当金戻入額	45	—
その他	30	17
営業外収益合計	<u>156</u>	<u>102</u>
営業外費用		
支払利息	76	62
支払補償費	33	—
その他	29	38
営業外費用合計	<u>139</u>	<u>101</u>
経常利益	<u>344</u>	<u>446</u>
特別利益		
退職給付信託一部返還に伴う影響額	—	9
投資有価証券償還益	—	9
特別利益合計	<u>—</u>	<u>19</u>
特別損失		
減損損失	21	—
特別損失合計	<u>21</u>	<u>—</u>
税金等調整前四半期純利益	<u>323</u>	<u>465</u>
法人税、住民税及び事業税	190	352
法人税等調整額	<u>△123</u>	<u>△219</u>
法人税等合計	<u>67</u>	<u>132</u>
少数株主損益調整前四半期純利益	<u>256</u>	<u>332</u>
少数株主利益	98	135
四半期純利益	<u>157</u>	<u>197</u>

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	<u>256</u>	<u>332</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39	103
繰延ヘッジ損益	△0	△9
為替換算調整勘定	△15	318
その他の包括利益合計	<u>△54</u>	<u>412</u>
四半期包括利益	<u>201</u>	<u>745</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>110</u>	<u>454</u>
少数株主に係る四半期包括利益	90	291

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	鋳物関連事業	その他	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	10,681	2,004	12,685	—	12,685
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	6	6	△6	—
計	10,681	2,010	12,691	△6	12,685
セグメント利益	736	196	933	△589	344

(注) 1. セグメント利益の調整額△589百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△228百万円、営業外収益が78百万円、営業外費用が△29百万円及び退職給付会計の数理計算上の差異の償却に係る信託株式の時価変動による損益(△は損失)が△408百万円含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「鋳物関連事業」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において21百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	鋳物関連事業	その他	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	11,052	2,319	13,371	—	13,371
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	5	5	△5	—
計	11,052	2,325	13,377	△5	13,371
セグメント利益	507	228	735	△289	446

(注) 1. セグメント利益の調整額△289百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△162百万円、営業外収益が102百万円、営業外費用が△38百万円及び退職給付会計の数理計算上の差異の償却に係る信託株式の時価変動による損益(△は損失)が△190百万円含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。